

## グローバルコミュニケーション演習

### Exercise for Global Communication

担当教員：松葉豪 高橋辰宏 その他

担当教員の所属：理工学研究科・フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院

開講学年：1年、3～4年 開講学期：1年後期、3～4年前期 単位数：2単位 開講形態：

講義等

開講対象：フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院

科目区分：必修科目

#### 【授業概要】

##### ・テーマ

将来グローバルな環境でリーダーシップを発揮して活躍するために、(1)英語プレゼンテーション作成と発表力、グローバル企業や海外大学を訪問し将来目標やビジョンをもつ、(2)さらなるプレゼンテーション力アップ、英文履歴書作成力、質問力、説明力、リーダーシップ力、交渉力などを高める必要がある。本研修・授業では、(1)を1年次に、(2)を3～4年次に、実践的な海外研修・授業を行うことで、これらの能力形成を図る。

##### ・ねらい

1年次後期に、ではじめた研究成果をもとに世界を体感・実践力・グローバルコミュニケーション力を高める。将来へのビジョンを明確化させ意欲を高める。3～4年次前期に、海外長期インターンシップを目的に、さらに実践力・グローバルコミュニケーション力を高める。

##### ・目標

1年次後期、(1)海外短期研修での発表を目標に英語プレゼンテーション作成と発表の基礎をつけ、専門外の研究者にもわかりやすく説明・議論できる力をつける。グローバル企業訪問、海外学生との切磋琢磨で、自分の現在のグローバル力を位置づけし、将来の高い目標・ビジョンを立てて行動をする。3～4年次前期(2)海外長期インターンシップを目標に、グローバルな環境で働く優れた人材がもつ習慣、インターンシップ受け入れのための英文履歴書・業績書での自己アピール力、さらなるプレゼンテーション発表力を高める。また、リーダーシップに関する基礎について学び・発表・議論を通じて、質問・説明力を身に着ける。

##### ・キーワード

プレゼンテーション、海外短期研修、英文履歴書・業績書、CV、リーダーシップ、説明力、質問力

#### 【授業計画】

##### ・授業の方法

###### (1) 1年次後期

短期(1週間程度)の国内研修及び海外研修における発表準備と実際に海外での大学とのシンポジウム、および企業訪問と、その後のワークからなる。海外大学とのシンポジウムでは、英語で口頭発表、ポスター発表を行うことによって、英語での議論する力、説明する力を身につける。また、グローバル企業を見学することで、自分自身の将来像に対して明確なビジョンを持つとともに、グローバルに働くことはいかなる意味を持つかを考える。

###### (2) 3～4年次前期

海外長期インターンシップを目標に、グローバル人材の基盤力をグローバルな環境で働く優れた人材がもつ基盤的な習慣「7つの習慣」(著書)を身に着ける。海外インターンシップへの応募を目標に自分をアピールできる英文履歴書・業績書の作成し発表する。また、海外インターンシップ先を想定したプレゼンテーション作成し発表する。将来、グローバルな環境でリーダーとして活躍する基盤となるリーダーシップに関して「リーダーシップチャレンジ」(著書)の各項目を分担発表し、リーダーシップについて討論する。

##### ・日程

###### (1)

- 1回目 発表準備および海外渡航のための下準備
- 2回目 ワーク(大学および企業の下調べ)
- 3回目～5回目 国内研修(博物館など)および短期海外研修(大学、企業など)
- 6回目 ワーク(短期研修で学んだことについて討論)
- 7回目 ワーク(学んだことについてレポートなどにまとめる)

(2)

- 1回目 グローバル人材に必要な「7つの習慣」
- 2回目 英語 CV の重要性と書き方
- 3回目 英語 CV 発表・議論 その1
- 4回目 英語 CV 発表・議論 その2
- 5回目 研究紹介発表・議論 その1
- 6回目 研究紹介発表・議論 その2
- 7回目 リーダーシップチャレンジ 発表・議論 その1
- 8回目 リーダーシップチャレンジ 発表・議論 その2

#### 【学習の方法】

##### ・受講のあり方

講義は全て英語で実施します。積極的に議論への参加をしてください。1年次の英語プレゼンテーションや、3～4年次の海外長期インターンシップを想定したグローバルコミュニケーション力向上にむけた個別の英語実践力向上も希望者に行います。

##### ・予習のあり方

必要資料授業前に配布します。

##### ・復習のあり方

各自で何度も声をだして発表英語力等を高めてください。

#### 【成績評価の方法】

##### ・成績評価基準

(1) (2) それぞれ50点で評価

(1)

発表準備のワークおよび、帰国後のレポート・プレゼンテーションで評価

(2)

英語 CV、研究紹介プレゼンテーション、リーダーシップチャレンジのプレゼンテーションで評価

#### 【参考書】

3～4年次では、リーダーの本質を知る世界的な名著“The Seven Habits of Highly Effective People” “The Leadership Challenge”を使用します。(日本語訳「7つの習慣」キング・ベアー出版 「リーダーシップチャレンジ」海と月社)

#### 【科目の位置付け】

フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院では必修科目となります。

#### 【その他】